

東京大学卓越教授の称号授与の決定

東京大学は、2021年9月30日付けで、宮園 浩平 大学院医学系研究科教授に対して「卓越教授」の称号を授与することを決定しました。

宮園 浩平（みやその こうへい）大学院医学系研究科 教授

腫瘍生物学。がんの進展に密接に関与する生理活性タンパク質である β 型腫瘍増殖因子(TGF- β)や骨形成因子(BMP)の信号伝達の研究を行い、この分野の創始期からの発展につながった。また、がん研究の分野だけでなく循環器病学や骨・軟骨代謝など幅広い分野にも貢献した。紫綬褒章、藤原賞、日本学士院賞等を受賞している。2017年より日本学士院会員。

卓越教授の称号は、本学現役教授のうち、専門分野において特に優れた業績を挙げ先導的な役割を果たしている者で、

- ①ノーベル賞の受賞者又は文化勲章の受章者
- ②ノーベル賞・文化勲章に準ずる賞の受賞又は業績を有する者として部局長が推薦した者に対して付与することができることとしております。

卓越教授の称号授与は、2017年3月の梶田隆章教授、十倉好紀教授、2019年3月の藤田誠教授に続き4人目となります。

<問い合わせ先>

東京大学本部人事企画課人事制度チーム

TEL:090-1701-0647、090-1736-4886